

## 平成24年度 第2回大阪府立吹田高等学校学校協議会 記録

○日時：平成25年3月8日（金）午後7時から午後8時45分

○場所：大阪府立吹田高等学校 本館2F会議室

○テーマ

平成24年度の総括と平成25年度に向けて

——平成24年度学校経営計画及び自己評価、平成25年度学校経営計画（素案）

○出席者（敬称略）：

会長 白井 孝雄（大阪薫英女学院中学校・高等学校 校長）

委員 射場 宣廣（吹田市立片山中学校 校長）

井村 朗子（本校 P T A会長）

上口 浩幸（藤が丘上自治会 会長）

土井 実（鳳志会 副会長）

吉中 美保（本校 後援会会長）

校長 村田 徹

○事務局

大家 秀夫（教頭）、中埜 高彦（事務長）、大西 英之（首席）、下本 隆二（首席）

池田 延孝（生徒指導主事）、大島 直子（進路指導主事）、手島 肇（3年学年主任）

### ●委員より出された提言・意見

○H24年度学校教育自己診断について

- ・膨大な量のアンケート結果に、一つひとつ丁寧に分かりやすく回答されており、学校の方針も明確に示されている。吹田高校の思いのほとんどが分かる労作で、高く評価したい。

○分掌・学年の取組みについて

#### 【生徒指導】

- ・「朝ガク」は、1限目の授業が落ち着いて始められる環境をつくることと学力向上の2つを目標とし、順調に進められている。引き続き、成果を期待する。外から見た場合、これからは学力向上に力点を置くのがいいのではないか。
- ・頭髪の帰宅指導や遅刻の居残り指導も大きな成果を上げているので、これからも続けてほしい。
- ・「校内の清掃」について、学校教育自己診断では「そう思う」の割合が1桁である。生徒自身の環境美化に向けた主体的な取組みを引き出す働きかけが必要だ。例えば、幼稚園や保育園の子どもさんに学校に来てもらう機会を増やせば、小さい子に汚い学校を見せたくないという思いから生徒が校内美化に積極的に取り組むようになるのではないか。

#### 【進路指導】

- ・3年間を見通した系統的な進路指導計画（SSP）を策定しているとのことだが、この計画

に基づいて着実に実行するようお願いしたい。

- ・現在実施している進学講習を68%の保護者が知らなかったという結果が出ている。せっかく良い取り組みをしていただいているので、ぜひ認知度を上げる工夫をしてほしい。
- ・来年度から「進学クラス」も設置され、吹田高校も変わりつつあることが外にも伝わってきている。
- ・「進学クラス」について、生徒の希望に基づいて編成することのだが、それでは希望者数によってクラス編成が大変になると思う。今後は「進学クラス」数を限定することも考えたほうが良いと思う。

#### 【学校運営・会議】

- ・内規を改定し、学校運営の中心に運営委員会を据え、部長・学年主任等によるミドルアップ・ミドルダウンに取り組んでいるとのことだが、学校現場で数多く行われる会議を効率化し、生徒と向き合う時間を確保するために有効な方法である。
- ・全教職員にその方法と意識が定着するまでは、少し時間もかかるだろうし、運営委員の負担も大きいだろうが、月2回1時間程度の職員会議で教員への連絡や学校の方向性が共有されるよう、引き続き努力してもらいたい。

#### 【授業力向上】

- ・生徒が先生の授業を評価することに、一定の危険性も感じるが、最終的にそれらを踏まえて校長が評価するのであれば問題ないと思う。
- ・授業アンケートのとり方については、全科目のアンケートをHR等で一斉にとる方法が推奨されているようだが、生徒の実態も勘案して決定した方が良い。各授業の中でのとる方法や何日かの終礼で取るという方法もある。学校の判断を優先してほしい。

#### 【総合的に】

- ・吹田高校の頭髪指導・遅刻指導が成果をあげ、進学にも力を入れはじめ、全般的に学校が良くなりつつあることは、地域でも評価されている。今後さらに「進学クラスが」が発展し、国公立大学に行けるような学校になったら、「うちの子も吹田高校に行かせたい」と思う。地域にそういう学校があることは非常にありがたい。そのような学校をめざして頑張ってもらいたい。